

薬友会

山口 巧 やまぐち たくみ

松山大学薬学部長

松山大学薬学部医療薬学研究室 教授



【略歴】

平成3年3月 徳島大学薬学部薬学科卒業
平成5年3月 徳島大学大学院博士前期課程薬品科学専攻修了
平成18年3月 博士（医学）取得（徳島大学）

【職歴】

平成5年4月 持田製薬株式会社研究員（富士中央研究所配属）
平成6年5月 徳島大学医学部附属病院薬剤部勤務
平成13年7月 愛媛大学医学部附属病院薬剤部勤務
平成15年11月 退役軍人医療センター ルイス・ストークス クリーブランド部門
薬剤部（米国オハイオ州）（派遣）
平成20年4月 松山大学薬学部医療薬学教育センター（医療薬学）准教授
平成28年4月 松山大学薬学部・大学院医療薬学研究科 医療薬学研究室
教授（現在に至る）
平成31年4月 松山大学薬学部長（現在に至る）

山口 巧氏は平成3年に薬剤師免許を取得して直ちに徳島大学大学院に進学し、その後臨床現場で薬剤師業務に従事する傍ら研究に取り組み、平成18年に博士（医学）を取得されました。その後は松山大学薬学部に異動され後進の教育・研究に取り組み、現在は松山大学薬学部長としてご活躍されています。

山口 巧氏は徳島大学薬学部時代の思い出として、医学部ワングル部に所属し、週末になると山々を仲間と一緒に駆けずり回っていたこと、所属した研究室（薬学部生化学教室）では先輩方と夜遅くまで実験に取り込んだこと、また研究テーマに関連した動物組織からのタンパク質抽出・精製が大変だったことを憶えておられるそうです。このような徳島大学時代の経験を通し、山口巧氏は松山大学薬学部の学部長として、学部の教育向上や研究推進、学生生活の向上、学部のグローバル化など、多くの課題に積極的に取り組まれています。

山口 巧氏からは『徳島大学薬学部は、若い薬学部が目指すお手本のような存在です。我が国の薬学部のリーダーとして世界に誇れる研究や研究者を輩出し、医療現場で活躍する薬剤師をどんどん育成していただきたい』というメッセージをいただきました。

山口 巧氏が学部長を務める松山大学薬学部は創設15年目を迎えた若い薬学部であり、そこに若いリーダーとして取り組む山口 巧氏の今後益々のご活躍を願ってやみません。